

北海道新聞 2013 年（平成 25 年）7 月 15 日（月曜日）

＜投票所をバリアフリーに＞

◎札幌の市民団体 参院選で要望書

21 日投開票の参院選に関して札幌の市民団体「差別解消を求める市民の会」（竹田保代表）が 12 日、投票所などのバリアフリー化を徹底するよう求める要望書を道選管などに提出した。

同会は知的障害や視覚障害の当事者ら約 30 人で構成。車いすのために仮設スロープを設ける投票所は多い一方、投票所の入場券や看板に振り仮名がないなど、バリアフリー化が徹底されていないと指摘。投票所となっている学校などが災害時には避難所になることから、スロープの常設も求めた。

12 日に道庁で行われた記者会見には、竹田代表や当事者たちが出席。「入場券に振り仮名がないため何が書いてあるのか分からず、投票にも行けない」「投票箱の穴を大きくするなど配慮して」などと訴えた。同会は参院選道選挙区の 6 候補に対しても、今回提出した要望書への意見を求める考えだ。

